# 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	農林水産部 森林整備室
評価対象期間	平成23年4月1日~平成24年3月31日

1 指定概要

旧足似女		
施設概要	名 称	大分県県民の森施設 施設種別 (青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘) レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分市大字廻栖野 外
	設置目的	大分県県民の森における森林の持つ優れた自然を生かして、保健、休養及びレクリエーションの場を提供し、森林に関する学習活動を促進し、その他森林の利用を増進することにより、県民の健康な生活の確保を図るとともに、森林に関する県民の理解を深める。
指定管理者	名 称	県民の森管理共同事業体
	代表者名	代表団体 公益財団法人森林ネットおおいた 理事長 重本 悟
	所在地	大分市大字古国府字内山1337番地の15
指定管理業務の内容		<ul> <li>・青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘で行う学習活動等の指導、施設の提供、森林レクリエーション等に関すること</li> <li>・施設の維持管理及び修繕に関すること</li> <li>・施設の利用受付及び案内に関すること</li> <li>・施設利用の許可に関すること</li> <li>・施設利用の促進に関すること</li> </ul>
料金制度		利用料金・ 使用料 ・ 該当なし
指定期間		平成21年4月1日~平成26年3月31日(5年間)

### 2 評価結果

#### 評価項目及び評価のポイント

- 1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み
  - (1)施設の設置目的の達成
    - ①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。
    - ②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。
    - ③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。
    - ④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。

### 【所見】

- 利用者数は、176,310人で前年度に比べて498人の増となっており、また、目標指標としているキャンプ 場等の県民の森施設利用件数は1,964件で、目標の1,530件を大きく上回った。
- 利用者の増加を図る取組みとしては、自主事業としてさくらまつりや森林環境講座等の開催、森林展示館周辺の歩道整備の実施により、車いす使用者の散策を可能とした。また、サービス改善提案事業としてサイクリング道沿いにモミジ等の植栽を行った。
- 広報活動については、テレビ、ラジオ、新聞、ホームページや生活情報誌等によりイベント情報を発信している。
- 広報媒体の選定は、各イベント・施設等の利用年齢層等を考慮し掲載しており、その結果、レンタサイクル・ キャンプ場の使用料収入と利用件数・利用者数が共に増加している。
- (2)利用者の満足度
  - ①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
  - ②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
  - ③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
  - ④利用者への情報提供が十分になされたか。
  - ⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

### 【所見】

- ラベンダー祭りや紅葉ウオーキング及び自然素材を使った工作体験等のイベントでのアンケート結果では、「楽しかった」「来年も是非参加したい」などの意見が多く、リピータの利用者が増えている。
- キャンプ場で雨天時に食事するための場所確保の要望があったため、ブルーシート・テント等の設置を行い 食事場所の確保に努めた。
- ボーイスカウトより木工教室を開催してほしいとの要望あったため、計画されたイベントとは別に森林学習展示館にて木工教室を実施した。
- イベント(リースづくり)の募集において、定員先着50名に対して70名の応募があり、ぜひ参加したいとの要望が多かったことから、定員数を70名に増やして参加要望に対応した。
- 写真の掲載や記載内容をわかりやすく改めるなどHPの内容の充実を図った。また、テレビ、ラジオ、新聞によるPRのほか生活情報誌(ぷらざ等)に広告を載せ掲載誌を増やすなどPRの強化を図った結果、施設利用者が増加している。

#### 2 効率性の向上等に関する取組み

#### (1)経費の低減等

①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。

②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、 経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

### 【所見】

- 施設の管理を直営で行うことで、経費の低減を図っている。
  - ・施設の清掃やラベンダー園等の管理については地元の住民を雇用して実施
  - ・芝の管理について、業者委託を減らし芝刈り機を購入して一部区域を直営で実施
  - ・道路管理について、小規模の崩土除去を直営で実施

### (2)収入の増加

①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

## 【所見】

- サイクリング施設・キャンプ場の利用について、利用者年齢層等を考慮して情報誌に広告掲載したことで利用者が増加し、その結果使用料収入が増加した。
- 3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み
  - (1)施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況
    - ①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。
    - ②職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか。
    - ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

## 【所見】

- 来場者の多いイベント開催時には人員を多く配置し、業務量に応じた体制としている。
- 自然観察指導員を養成する研修会等に出席し、職員の能力向上を図った。
- 地域や関係団体等との連携や協働を積極的に行っている。
  - ・森林ボランティア団体(NPO・地元公民館等)に対する支援活動。
  - ・ボーイスカウト団体に対する支援活動。
  - ・大分市のつはる少年自然の家と連携して、青少年の森林学習活動などの支援活動。
  - 管理事務所に通じる市道の清掃を地元住民と共同で行った。
- (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
  - ①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。
  - ②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
  - ③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
  - ④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。
  - ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
  - ⑥防犯、防災対策等の危機管理体制が適切であったか。
  - ⑦事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

### 【所見】

- 日頃から個人情報保護に努めており、漏洩等の事故は発生していない。
- 施設の利用受付にあたっては、施設設置条例及び施設利用規則等を遵守し、公平・平等な取扱いを行っている。
- 毎日施設の点検、パトロールを実施しており、林道の転石の除去など安全対策を適切に行っている。
- 台風や豪雨時などで災害が発生する可能性が高い場合は、休日を返上して施設の点検、パトロールを実施 している。

## 【総合評価】

### 〔所見〕

- 施設の管理運営については、県民の森施設は山間部に点在し、管理区域も広い中、安全管理の徹底や、経費の効果的な執行等が行われ、適切に行われたと評価できる。
- 事業については、野外活動が多いため天候に左右されるが、専門スタッフによる適切な対応により施設利用者、使用料収入とも増加しており、県民の保健、休養及びレクリエーション等の場として大きく寄与している。

#### [今後の対応]

- 引き続き、適切な施設の管理運営を行い、県民の健康な生活の確保等に寄与することを期待したい。
- また、利用者のアンケート結果に基づき、イベント情報などの広報活動を強化しており、より一層の利用者の増加が期待される。

## 【指定管理者評価部会の意見】

- 利用者数は増加し、目標指標である施設利用件数を達成している。また、収入は減少しているものの赤字を出さず、安全面では災害時のトラブルにも適切に対応し事故等の発生はないなど、健全な管理が行われていることは評価できる。
- さくらまつり、ラベンダー祭りなど自主事業の充実による多くのリピーターの獲得、新規の利用者を増やすための 事業展開と柔軟な対応も評価できる。
- 雇用を含め地域と連携した良好な施設管理を行っているが、職員の採用については、高齢化への対処や県民の就労機会の拡大という観点も含め検討してほしい。さらに、事業の質を上げるため、自然観察、森林セラピー等専門的人材の育成にも引き続き注力することが必要である。
- 初めて訪れる人に配慮し、施設までの経路を示す案内板の設置場所や内容等を見直すことが必要である。